



本は君が好き

BOOK IS POWER! IF YOU READ IT. vol.2

令和 7 年 5 月 12 日
荒川区立第九中学校
校長 奥秋 直人
学校司書 本間 純子

👉 5 月はものみな新たに… 👈

『大どろぼうホッツェンプロッツ』という本を読んだことがありますか？ カスパールとゼッペル、ふたりの愉快な二人組が、大どろぼうホッツェンプロッツに盗まれた、おばあさんの大切なコーヒー挽きを取り戻す冒険譚です。このコーヒー挽きには特別な仕掛けがあって、コーヒー豆を挽くハンドルを回すと「5 月はものみな新たに」という曲が流れてくるのです。コーヒーを淹れるこの豊かな時間ごと、大どろぼうホッツェンプロッツはおばあさんから奪ってしまうのです…と、私が小学校 2 年生の時に夢中で読んだこの物語で、忘れられないのが「5 月はものみな新たに」というフレーズです。当時の私は「モノミナアラタニ」というのは呪文かおまじないだと思っていました。その意味が理解できるようになった頃には、もうこの本を読むこともしなくなってしまいましたが、これはいったいどんな曲なのだろうと、5 月になると思い出すのです。

新緑が目まぶしい 5 月は、ものみな新たに！まさに光り輝く季節です。今月から、朝の図書館学活も始まりました。新しい本も、もうすぐ届きます。学校図書館の本はあなたとの出会いを待っています！

📖 今月の「きく読」スタートは 0 類から！

『読書する人だけがたどり着ける場所』 齋藤 孝 【請求記号：019/さ】

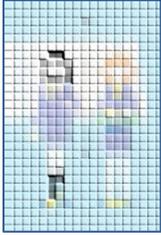
● 読書術の大家が、ネット時代に教える「だからこそ本を読む」理由

「ネットがあるのになぜ本を読むのか」。
そんな話もありますが、本当にそうでしょうか？
私たちは日々情報には触れていますが、そこで何が残っているのかというと、ただ無為に情報を消費しているだけ、のような状況もあります。
本を読むことでしか学べないことは、確実にあります。
文学・読書の大家である齋藤先生が、今の時代だからこそ勧める「読書する理由」と、「人生と知性に深みをつくる読書」の仕方をご紹介します。

十代の頃は手当たり次第の乱読でかまわないと思っています。つまらなければ別の本に鞍替えすればよい、とも。でも、前半が全然面白くないけれど、後半になって俄然興奮の展開！という作品に出会い、読みかけでほかすのはちょっともったいないかも…と思うようになりました。読み継がれた作品は（当然ですが）侮れないと知ってから、読書の記録をつけるようになりました。以前読んだ時はさっぱりわからなかったのに、今読むと心に響く作品との再会。読書の記録を振り返ると、自分の成長に気づくことができるのです。



🐑 第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書が届きました！



『わたしは食べるのが下手』天川栄人 作 小峰書店

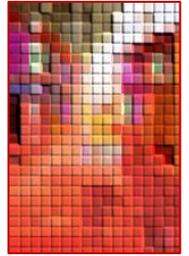
会食恐怖症と摂食障害——。人と食事をするのが苦手な葵と、過食嘔吐を繰り返す咲子。ふたりの少女がたどりついた“わたしたち”なりの食との正しい付き合い方とは。わたしたちが望む給食って、いったいなんだろう？

『スラムに水は流れない』ヴァルシャ・バジャージ 著 村上利佳 訳 あすなろ書房

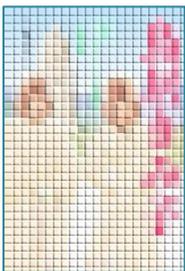
そもそもの問題は、水がたりないことだった。

インド有数の大都会ムンバイ。ミンニと兄サンジャイが暮らすスラムには、ムンバイの人口の40パーセントが住んでいるのに、水は市全体の5パーセントしか供給されていないのだ。

水不足がきびくなる三月、兄サンジャイが闇の世界の秘密「水マフィア」を目撃してしまい……。家族の絆、友情、シスターフード……。人は水なしでは生きていけない。でも、ほんとうに必要なのはそれだけじゃない！手に汗にぎる物語！



『鳥居きみ子:家族とフィールドワークを進めた人類学者』竹内紘子 著 くもん出版



鳥居きみ子の夫は、「知の巨人」ともいわれ、明治から昭和時代にかけて活躍した人類学者、鳥居龍蔵です。彼の生涯や研究業績を紹介した本はたくさんありますが、きみ子のごことはこれまで紹介されたことがほとんどありません。じつは、「家族とともに調査・研究する」という形で、女性の活躍が厳しい時代を生き抜いた先駆的な研究者なのです。人類学のなかでも、昔から伝わる生活・風習・伝説・歌などを調べる民族学を切り開きました。その生涯をはじめて伝える一冊です。

📖 今月の BIP (Book Is Power)

🎉 「きく読」放送開始記念！

「本」に命を懸けた人たちの物語 4冊

『ハーレムの闘う本屋—ルイス・ミシヨ—の生涯』

ヴォーンダ・ミシヨ—・ネルソン 原田 勝[訳]

『葬られた本の守り人』

ブリアンナ・ラバスキス 高橋 尚子[訳]

『アウシュヴィッツの

図書係』

アントニオ・G・イトウルベ

小原 京子[訳]

『リスボンの

ブックスパイ』

アラン・フラド 高山 祥子[訳]



🍵 給食×本

夏も近づく八十八夜…

「日本文化」の深みを味わう始めの一歩の指南書

おかしなキャラの

と、個性豊かな茶人たちにやりこめられつつ成長

する主人公を描く、青春エンターテインメント作品

の2冊を紹介します。

『主婦の友新実用 BOOKS

決定版 はじめての茶の湯』

著者 千 宗佐

『雨にもまけず粗茶一服

(上・下)』著 松村栄子

